

一日の生活への期待感を高める

01 「朝の会」にするには？

担任経験4年目・女性

「朝の会」は大切だと思うのですが、ルーティーン化して形式的になっています。子どもを主体的・対話的に「今日もがんばろぞ！」という気持ちにする朝の会のポイントを教えてください。

A 子ども一人ひとりの向上心を高め、安定した一日をスタートさせよう！

限られた時間の朝の会で扱う活動内容の一つ一つの目的を、子どもたち自身が明確にして、みんなで共有し、形骸化しがちな朝の会を「今日もみんなでがんばろう！」という意識を高める時間にする。

戦略の構造 /

朝の会の意義

● 学級として、個人として、一日のスタートとなる大切な時間である。

○ 創意工夫のある朝の会

朝の会の趣旨を踏まえた意図的なプログラム。



日直が進行役を務めることで、
● 表現力が高まる。
● 責任感がつく。



一日の「がんばりどころ」をみんなで確認。

* この小さな積み重ねが、学級の大きな力に！



× 形式的な朝の会

「朝の会の進め方」を棒読みし、進行役がいなくてもよいような会。



担任のお手伝いをしている、担任主導の時間帯。



一日の見通しがもて、主体的・協働的に学校生活を送ろうとする意識

仕掛けのポイント

💡 一日のスタートから子どもを主役にする

担任が朝いちばんでするべきこととして、子どもの出席と健康状況の把握、提出物の確認、一日の主な活動の確認などがある。これらを踏まえながら、朝の会ではどのような内容を扱えば、子どもが主体となって「今日も一日みんなできなぼうろ。」という一体感をつくる時間帯とすることができるかを工夫したい。そのためには、マンネリ化しがちな朝の会のプログラムを子どもと一緒に考え、決定するプロセスを大切にする必要がある。子どもの主体性はここからスタートする。

💡 進行役を通して力を伸ばす

年間200日の授業日数で実施しない日を差し引いても、30人の学級では、二人の日直が朝の会の進行役を行う場合、一人年間10回以上は務めることになる。この機会を通して、どのような力を身に付けさせようとするか、意図して学級経営を行うのとそうでないのでは、子どもの成長ぶりも変わってくる。朝の会を「仕切る」という意識を個々の状況に応じて抱かせ、子どもが自らコミュニケーション力や統率力などの力を伸ばすチャンスとしたい。

朝の会のプログラムをみんなで決めて、責任をもって進めさせよう！

1 子ども自身がそれまでの経験をもとに、朝の会の内容を検討することは可能である。みんなで話し合い、「みんなで決めたこと」という意識をもたせる。



この学級として、朝の会で大切にしたいことはなんだろう？

2 「何のためにそのことをするのか？」等、各プログラムの目的について、合意形成を図る。

一日の予定とめあてを確認しておく、自分たちで動けるね。

「明るい学級」という学級目標があるから、元気で明るいあいさつから始めよう！



1分間スピーチで、みんなのことをもっと知りたいね。

これから朝の会を始めます。まず気持ちのよいあいさつをしましょう。次は、今日のスピーチです。



おはようございます！

おはようございます！

【朝の会の流れ】

1. さわやかなあいさつ
2. 今日のスピーチ
3. 今日の予定
4. 今日めあて
5. その他

【今日のスピーチ】

昨日のニュースで、すごいと思ったことを話します。



明るく、楽しい一日の学級の雰囲気をつくる仕掛けを工夫しよう！

1 毎朝の健康観察を班ごとに行い、登校から朝の会までに、子ども同士で声掛けとともに、相互観察するようにしておく。友達の様子への関心や思いやる気持ちが養われる。

おはよう！ 今日元気？



おはよう！ 今日元気いっぱいだよ。佐藤さんは？

* 特に、班のメンバーに健康面で気になることがある場合には、朝の会の「その他」で報告する。

少しせきが出るけど、……元気。

せきが出るなら風邪にならないように気をつけたいね。

2 「その他」や「今日めあて」のコーナーで、「昨日のキラキラ(学級のために活躍した人や、友達の良い行いなど)」を取り上げて、「今日もがんばろう！」という機運を盛り上げる。

パチパチ！



昨日は、3班の人たちが昇降口が汚れていることに気づいて、掃除に掃除していた。すごい！

パチパチ！

3 「今月の歌」や「今月のゲーム」などのコーナーを、月一回程度設けて、みんなの心を一つにする機会をつくる。

今日から、学芸会で歌う「〇〇〇」を朝の会の中で歌います。



聞く人を感動させたいね。気持ちを込めてやろうよ。